

2020年10月31日(土)

結果報告

# 第44回兵庫県中学校体操競技新人大会

今年は新型コロナウイルスの影響を受けて、全国中学校総合体育大会が中止となりました。

そこに合わせて、以下予選大会となっているすべての試合(阪神大会、県大会、近畿大会)が中止となり、中学生にとって試合に出場する機会が全くありませんでした。

ようやく、この中体連の新人大会においても関係各位の協力の下、開催されるに至りました。

当クラブ所属の野田健太君(伊丹市立 笹原中学校、2年)が10月の上旬に阪神大会に市立尼崎高校で開催され、無事県大会への出場資格を獲得し、今大会へ出場する事ができました。

結果は個人総合では6位、種目別では鉄棒優勝する事ができました。



中学校の新人大会は3種目の合計得点で競います。

今回は跳馬からのスタートでした。着地を止めるこことを狙いに行き過ぎて、前転とび前方抱え込み宙返りの着地で、しりもちを着いてしまい、1.00の大きな減点をされました。

続く種目は鉄棒、今回は見事種目別優勝する事ができましたが、鉄棒のバーのしなりに合わせされずに、技を一つ抜いて技の難しさを表すDスコアを下げた形の演技での実施となりました。

課題にしていた下り技の伸身2回宙返りは、過去に屈身で評価された事もあった技ですが今大会は伸身で認定され、着地も止まりました。

最終種目のゆかは、普段スプリングの入ったタンブリングで練習しているので、今大会使用されていたゴムチップのゆかでは、1コース目の2回宙返りに不安がありましたが、何とか着地をする事ができました。

油断をしたのか、2コース目の伸身前宙でまさかのしりもち寸前の着地、リズムを崩されたかのように最終タンブリングの後方伸身2回ひねりはあわてて捻りを掛けてしまい、あわや手をつく寸前でした。。。

今回個人総合6位に入賞する事ができましたが、その分修正していくなければならないポイントと、演技の精度をより高めてEスコアを上げていく必要があると感じました。

